

## 学会在庫の刊行物について

現在、日本気象学会事務局に次の刊行物「気象研究ノート」その他の在庫がありますので、ご希望の方は、申込者名・送り先・希望の印刷物と冊数・代金の支払方法を明示して、事務局（〒100 東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁内）にお申し込み下さい。残部の少ないものもありますので早い者勝ちです。

- 新しい気象学 (第5回夏季大学) (1971年7月) 620円  
テキスト
- 新しい気象学 (第9回夏季大学) (1975年) 1,000円  
テキスト
- 新しい気象学 (第10回夏季大学) (1976年) 1,000円  
テキスト
- 新しい気象学 (第11回夏季大学) (1977年) 1,000円  
テキスト
- 新しい気象学 (第12回夏季大学) (1978年) 1,000円  
テキスト
- 構造物の耐風性に関する第1回  
シンポジウム論文集 (1970年) 1,500円
- 構造物の耐風性に関する第2回  
シンポジウム論文集 (1972年) 2,000円
- 構造物の耐風性に関する第4回  
シンポジウム論文集 (1976年) 3,000円
- 構造物の耐風性に関する第5回  
シンポジウム論文集 (1978年) 3,500円
- 日本気象学会創立75年記念論文集 (和文編)  
 (1957年) 660円
- 日本気象学会大会予稿集
  - 昭和37年春季大会 300
  - 昭和37年秋季大会 300
  - 昭和38年春季大会 300
  - 昭和41年秋季大会 300
  - 昭和43年春季大会 700
  - 昭和46年秋季大会 700
  - 昭和47年春季大会 700
  - 昭和47年秋季大会 700
  - 昭和51年秋季大会 1,000
  - 昭和52年秋季大会 1,000
- 気象英文用例抜萃集 (1960年) 620円
- Proceedings of the WMO/IUGG Symposium on  
 Numerical Weather Prediction in Tokyo  
 (1969年3月) 1,240円
- Proceedings of the Symposium on the Use of  
 Satellite Data in Meteorological Research, No-  
 vember 3-5 1968 Tokyo 1,000円

○外国文献集 (各1,500円送料実費)

- No. 6 Cloud Physics Part 1
- No. 14 Tropical Meteorology
- No. 18 Upper Atmosphere
- No. 20 Micro Meteorology
- No. 21 Convection
- No. 22 Numerical Weather Prediction
- No. 23 Meteorological Statistics
- No. 24 Satellite Meteorology
- No. 25 Atmospheric Turbulence
- No. 29 Meteorological Instruments
- No. 30 Atmospheric Electricity

○気象研究ノート

- 第36号 (1953年)
  - K.S. 279 数値予報委員会の発足に際して  
 (巻頭言)
  - 大山勝通 281 Barotropic モデルによる数値  
 予報
  - 堀内剛二 303 超高層大気物理 (上)
- 第60号 (1958年)
  - 東京航空地方気象台 航空と気象
- 第62号 (1959年)
  - 石川業六 1 気象学におけるアイソトープの  
 役割
  - Henry Stommel 8 海流理論の概観 (Deep  
 Sea Res. 4)
  - 渡辺次雄 36 気象英文用例抜萃集 (1)
- 第65号 (1959年)
  - 田辺三郎 185 中国をめぐる極東環流について
  - 須田 建 211 ソ連邦の長期予報事業
  - 渡辺次雄 220 気象英文用例抜萃集 (2)
- 第100号 (1969年)
  - (回顧と抱負) 特集
- 第116号 (1973年11月)
  - ライダ (レーザレーダ) と気象観測

## 第118号

富士山の気象

## 第119号(1974年6月)

都市・建築と気象

## 第121号(1974年6月)

雲物理特集 I ——氷の物性——

## 第122号(1974年11月)

雲物理特集 II ——雲核・氷晶核——

## 第123号(1974年12月)

雲物理特集 III ——雲結晶・あられ・ひょうの生成——

## 第124号(1975年8月)

流れの可視化法

追補 境界層と乱流

## 第125号(1975年10月)

海陸風と山越え気流

## 第126号(1975年11月)

大気中の内部重力波

I. 内部重力波の理論……………田中 浩

II. 超高層の大気波動……………加藤 進

## 第127号(1975年12月)

大気汚染気象特集

大気境界層の拡散に関する構造……………横山 長之

大気中のガスや粒子状物質の変遷……………大喜多敏一

光化学大気汚染に関するシンポジウム

・光化学大気汚染中の反応のモデル化と

その素反応論的基礎……………秋元 肇

・大気汚染物質の分布と気象条件との

関係……………福岡 三郎

・光化学大気汚染のモデリングと

シミュレーション……………木村富士男

・討論

(付録) 大気汚染気象用語集……………河村 武

## 第128号(1976年3月)

最近の気象学と気象事業の展望

——気象庁創立百年を記念して——

## 第129号(1976年9月)

台風特集

第1章 台風の構造と発達のパワー……………山岬 正紀

第2章 熱帯低気圧の発生と台風観測

……………井沢 龍夫・門脇俊一部

第3章 台風の進路とその予報

……………野本 真一・岡村 存

第4章 台風災害……………奥田 穰

## 第130号(1976年12月)

気象の測定

気象の測定論……………斉藤 実

風・温度・湿度及び乱流輸送量の測定

……………文字 信貴・水間 満郎

大気汚染質の測定……………大喜多敏一・川村 清

大気微量成分の分光測定……………小川 利紘

大気電気の測定……………三崎 方郎

雨滴粒径の測定……………後町 幸雄

降雨強度の測定……………当舎満寿夫

地上からの放射測定に基づく気温の

鉛直分布の測定……………嘉納 宗靖

## 第131号(1977年5月)

スペクトル解析

・スペクトル解析の方法と

気象要素のスペクトル……………花房 龍男

・時空間スペクトル解析法と

大気大循環モデルへの応用……………林 良一

## 第132号(1977年9月)

気候の物理学的基礎と気候のモデリング

(GARP Publications Series No. 16)

序論と一般勧告

観測された気候変動の特性

気候のモデル化の基本原則

気候モデルの感度, 予測可能性の研究

気候モデルに含まれる物理的, 化学的,

生物学的諸過程

観測計画

浅井富雄・朝倉正・田中康夫・能登正之訳

## 第133号(1977年12月)

都市気候に関する最近の展望

日本および外国の諸都市における気候の変化

……………吉野 正敏

都市気候の分布の実態……………河村 武

都市気候の成因とモデリング……………河村 武

歴史資料による気候変化, 米の生産量,

価格, 人口などの関連に関する研究

……………高橋浩一郎

2次元拡散モデルによる熱使用限界の推定

……………高橋浩一郎

## 第134号(1978年3月)

数値予報

数値予報の歴史的展望……………岸保勘三郎